

福生三中だより

令和5年8月29日発行 No.6

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼節

2学期のスタートに向けて

校長 植村 多岐

今年の夏休みも厳しい暑さが続きましたが、いよいよ2学期がスタートしました。この夏を通して一段とたくましく成長した三中生の皆さんを見て、とてもうれしく、頼もしく感じています。そのような中、夏休み期間中の様々な事故のニュースがあるたびに生徒は大丈夫だろうかと気になりましたが、無事に夏休みを終えることが出来ました。これもご家庭や地域の方々のおかげと心より感謝申し上げます。

さてここで、2学期を充実させるためにスタートに向けてメッセージをお送りします。

■生活のリズムを大切に！

落ち着いた規則正しい生活が、気持ちの安定や集中力につながります。成果を上げるためには、「自分のことは自分で行う」「自分の身の回りのことは自分できちんと行う」等、自分自身を律して生活することが基本です。中学生としてしっかりとセルフコントロールをしていきましょう。



■他者を大切に、自分を大切に、言葉を大切に！

1学期は「いじめ」について考えてきました。他の人がどう感じているのかを考え、読み取ってください。悪口、からかい、ちょっかいを出す、ちょっとしたふざけた気持ち「いじめ」に発展していくこともあります。他者を大切に、自分を大切に、言葉を大切に、2学期、「いじめを許さない」強い気持ちで学校生活を送りましょう。

【一つの言葉でけんかして 一つの言葉で仲直り 一つの言葉で涙を流し

一つの言葉で笑い合い 一つの言葉で頭が下がり 一つの言葉でいがみ合う

一つの言葉はそれぞれに 一つの心をもっている

きれいな言葉はきれいな心 優しい言葉は優しい心】(作者不詳)

■積み重ねを大切に、努力を大切に！

自分の将来は自分で切り拓くものです。そして夢を実現するには、積み重ねること以外の方法はありません。勉強でも部活動や習い事でも努力すれば点数が上がったり、できなかったことができるようになる等必ず結果が出てきます。結果が出れば積み重ねることが楽しくなり、相乗効果も生まれます。目標を定め努力の毎日を送ることが基本です。

■防災への意識を高めましょう。

今年は1923年9月1日に発生した関東大震災から、100年の節目に当たります。毎年9月1日は、この惨事を教訓として、「防災の日」として定められています。2学期、本校においても災害発生時にも落ち着いて適切な行動ができるよう訓練を重視し進めて参りますが、いつ起こるかわからない地震に対して家庭内でも避難時の待ち合わせ(集合)場所の確認、防災グッズ等の点検等、非常時の行動の仕方をシュミレーションしておくことは重要です。昨今は台風をはじめ自然災害が巨大化し、私たちの生活において災害への備えは欠かせない課題のひとつとなっています。過去の災害に向き合いその教訓を受け止め、災害が起きたときのために日頃から備えをしておきましょう。

吹奏楽部

第63回東京都中学校吹奏楽コンクール

【銀賞】B組

銀賞おめでとう！

野球部

第75回東京少年野球福生地区大会

【3位】

3位おめでとう！

家庭科部

第22回花いっぱいコンテスト

【優良賞】

優良賞おめでとう！

漢字検定 合格おめでとう！

準2級2名、3級10名、4級3名、5級1名、計16名の合格

英語検定 合格おめでとう！

準2級4名、3級11名、4級6名、計21名の合格

水泳補講

8月21日(月)～25日(金)まで水泳補講を実施しました。皆さん、楽しそうに練習していました。



創立50周年記念式典ダンスの練習

創立50周年記念式典で披露するダンスの練習を卒業生に指導を受けながら、練習を重ねています。

